

# 県民の友 6月号

(平成5年/1993年)

No.658

発行 和歌山県知事公室 広報公聴課  
〒640 和歌山市小松原通1-1  
☎0734(32)4111

6月のこよみ  
●環境月間 1日～30日  
●測量の日 3日  
●歯の衛生週間 4日～10日

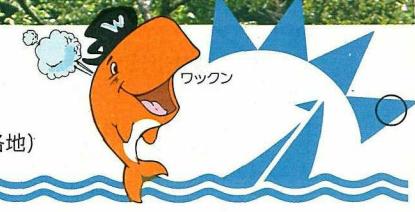


JAPAN EXPO  
WORLD RESORT EXPOSITION

1994

平成6年7月16日(土)～9月25日(日)

主会場／和歌山マリーナシティ 平成5年7月3日～リレーイベント開催(県内各地)



## オープニングセレモニー・コンサート招待者募集

### [オープニングセレモニー] [オープニングコンサート]

世界リゾート博の開幕を告げるセレモニー。  
小林稔侍さん、坂本冬美さんも出演します。

日時 7月3日(土)午後0時30分開場、1時30分開演  
場所 和歌山市・県民文化会館大ホール

募集人員 500組様ペアでご招待

世界リゾート博のイメージソングを歌うグループ「ZOO」による野外コンサート。

日時 7月10日(土)午後6時開演  
場所 白浜町・白良浜特設ステージ

募集人員 2000組様ペアでご招待



※ 6月19日(消印有効)までにハガキまたはFAX(0734-33-6389)で、住所、氏名、年齢、電話番号、同伴者の氏名を記入し、和歌山中央郵便局留  
世界リゾート博協会 催事第一課☎(0734)33-  
6388オープニングセレモニー係またはオープニ  
ングコンサート係へ申し込んでください。多数の場  
合抽選、発表は発送をもってかえさせていただけ  
ます。

くわしくは申込先へ



### 前売入場券発売中

第一期前売期間 平成5年5月5日～12月31日まで 第二期前売期間 平成6年1月1日～7月15日(開幕前日)まで  
前売入場券の券種は、普通入場券とパスポート入場券の2種類があり、第一期前売券の場合、当日券より約20%割安  
になっています。博覧会開催中、何回でも入場できるパスポート入場券がとてもお得です。

#### ■入場券

券種	区分	第一期前売	第二期前売	当日券
普通入場券	大人	2,200円	2,500円	2,800円
	高校生	1,300円	1,400円	1,700円
	小・中学生	900円	1,000円	1,100円
	幼児	300円	400円	500円
パスポート入場券	大人	5,000円	6,000円	8,000円
	高校生	3,500円	4,000円	5,000円
	小・中学生	2,500円	2,800円	3,000円
	幼児	1,000円	1,300円	1,500円

#### ■割引入場券

特別割引入場券 身体障害者手帳、療育手帳、戦傷病者手帳を所持する方  
及びその介護者1名(常時介護を要する場合に限ります)。被爆者健康手帳を所持する方。65歳以上の方。海外からの留学生・研修生の方。  
夜間割引入場券 午後4時以降入場する方。

学校行事団体割引入場券 高等学校・中学校・小学校・幼稚園及び保育所の生徒・児童で教職員比率のものと入場する団体。  
一般団体割引入場券 25名以上の団体。

\* 各入場券の区分は大人(満18歳以上)・高校生(満15歳以上18歳未満)・小中学生(満6歳以上15歳未満)・幼児(満4歳以上)とします。普通入場券は入場する日現在、  
パスポート入場券は平成6年7月16日現在の年齢を適用します。

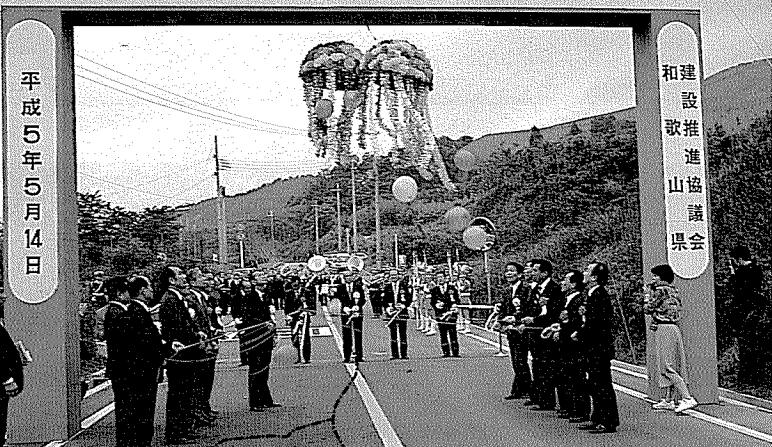
\* お問い合わせの際は、JR・旅行代理店の窓口のほか、プレイガイド等をご利用ください。

\* お問い合わせは世界リゾート博協会(☎0734-33-6131)まで。

# 広域農道紀の川地区

## 全線開通

祝紀の川地区広域農道開通

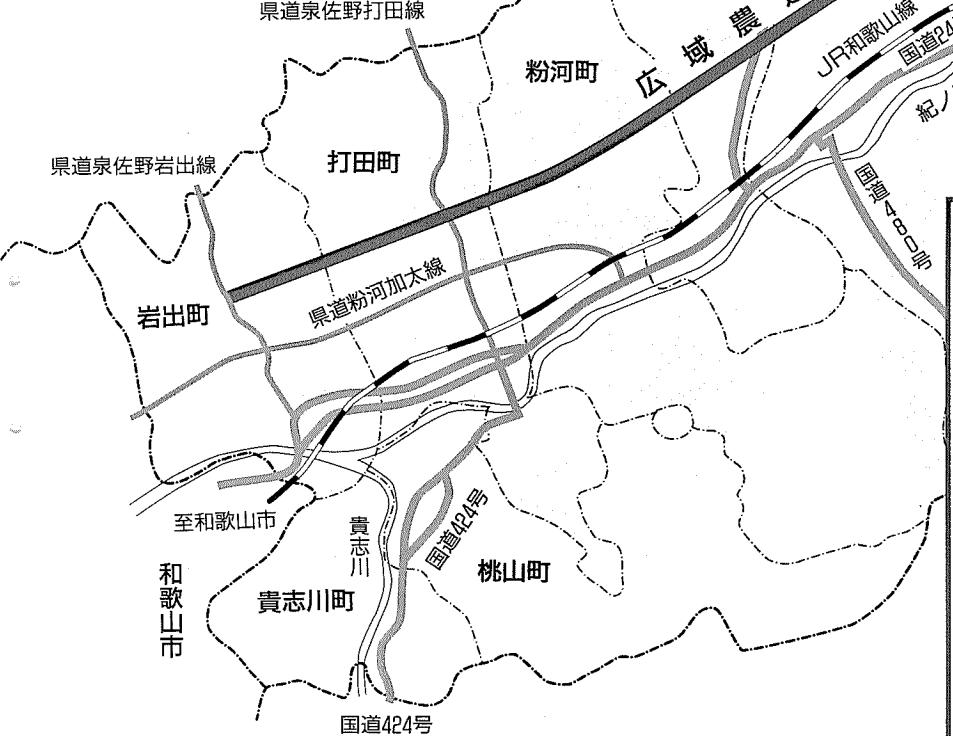


広域農道紀の川地区がこのほど全線開通し、五月十四日に開通式が行われ、テープカットの後クラッシャーによるパレードが繰り広げられました。この道路は、紀の川北岸沿いの和泉山脈山麓の果樹園地帯を、橋本市御幸辻と岩出町根来を結ぶ延長三十三・六キロメートル、幅員八メートルの広域基幹農道です。迅速な輸送や大型機械の導入など

ができることにより、効率の良い、魅力ある農村環境をつくることを目的に建設したもので、そのほか、地域に住む人々の交流や都市へのアクセス道路として大きな役割を果たします。

また、来年開港する関西国際空港へも県道泉佐野岩出線を通じて結び、沿道一帯を「臨空地域」として機能させることも期待されています。

（写真：県農政部）



## 時代に即した教育を 県立3高校で新学科がスタート



科学技術の進展や産業構造の変化など新しい時代の要請に応じた教育をと、四月から向陽高

校に「環境科学科」、南部高校に「服飾デザイン科」、新宮高校に「建設工学科」が新しく設置され、それぞれ特色ある授業がスタートしています。

普通科高校に全国で初めて設置された向陽高校の「環境科学科」は、地球的規模で環境の変化が問題となっている中で、自然環境や社会環境に関する幅広い基礎知識や科学的思考力、判断力とともに豊かな創造性とコミュニケーション能力をもち合わせた人材の育成を目指しています。

この学科では、環境科学や地球科学など理数系科目のほか、研究の成果等を英語でも発表、討論できるようなコミュニケーション能力を育成する英語関連科目も重視しています。また、生徒が個人またはグループでひとつテーマについて自主的に学習する課題研究なども専門科目として設けています。

南部高校の「服飾デザイン

科」は、「服飾デザイン科」、新宮高校に「建設工学科」が新しく設置され、それぞれ特色ある授業がスタートしています。

「服飾デザイン」や「被服製作」、「情報基礎」など被服や情報に関する実験、実習を中心に、基礎的な知識と技術の習得を目指した専門科目を設け、生徒の特性を生かした進路選択に対応できる教育課程となっています。

また、新宮高校の「建設工学科」では、土木、建築両分野での技術革新に応える創造性豊かな人材を育成し、河川や港湾、道路の整備、地域開発のための建設技術を学ぶとともにコンピュータを利用して先端技術に関する基礎的な知識・技術を習得します。このほか、施工管理、原価管理、安全管理など施工面で体験・実践を通じた学習にも取り組みます。



## 華やかに紀州路をPR! キヤンペーンガール決定

新しい「ふれ愛紀州路キヤンペーンガール」が決まりました。

応募総数一〇一人の中から選ばれた六人のメンバーは、写真

右から、

黒田江美さん(23)和歌山市中居香代さん(23)古座川町

西口広華さん(22)田辺市平田みよしさん(27)橋本市

山本有里さん(21)白浜町矢倉麻貴さん(22)串本町

今年五月～平成七年四月までの二年間、県内外でイベントなどに参加し、紀州路の観光PR活動をしていただきます。

キヤンペーンガールのみなさん、頑張ってください。



# 豊かな自然に 包まれて

あざやかな新緑、木の葉の間から差してくる日の光  
耳を澄ますとせせらぎの音や野鳥のさえずりが聞こえてくる  
自然是わたしたちを優しく包み  
日々の慌ただしさを忘れさせ、心を浄化してくれます  
自然とのふれあいを深め、その大きさを見つめ直しあほしい  
そんな空間づくりが県内各地で進められています  
その一部を紹介します。

## 自然との共生を目指して 森林公園 護摩壇山ワイルドライド



オープン



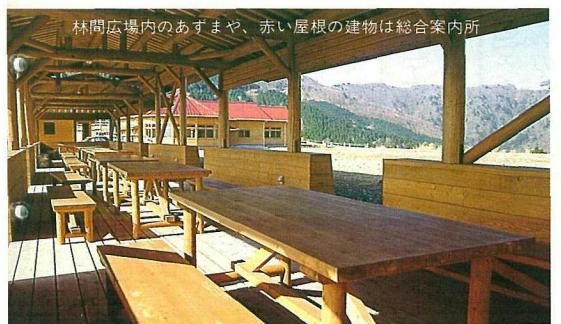
紀州の最高峰・護摩壇山。その山頂一帯は、ブナ、ミズナラなどの落葉広葉樹のほか、モミやツガ、トチノキなど天然の森林地帯で、なかでも、ブナの原生林は全国的にも貴重なものになっています。

また、春から初夏にかけては、萌え立つ新緑に、ゴヨウツツジやヤマボウシ、シロモジなどの花々が彩りを添えます。

そしてこの森林には、ニホンカモシカやヤマネ、ワカヤマムササビ、テン、オオルリ、コマドライフ」は、高野龍神スカイライ

ン沿いの護摩壇山頂の南斜面約三〇〇ヘクタールを森林とふれあい、緑や自然環境の大切さを学べる空間として整備したもので、春から夏にかけての新緑だけでなく、秋には紅葉、冬は樹氷と四季折々に大自然の醍醐味を満喫できます。

中心施設となる木造りの総合案内所には、ビデオや写真パネルを通して野生動植物について学ぶことができる展示・研修室



## 花と緑に包まれた憩いの場 転軸山森林公園



(高野町)

夏は、気温が下界より一〇度も低く、避暑客や林間学校の生徒たちの人気を集める高野山。

高野町ではこの高野山の北東部。

転軸山周辺を自然がいっぱいの

森林公園として整備しています。

高野楓やサルスベリ、カエデのほか、ウグイスやメジロなどの野鳥保護のために多くの実なる木、カブトムシなど昆虫が集まるようにクヌギなどを植栽、特に、いろんな国のシャクナゲを集めたシャクナゲ園やアジサイ園はこれからが見ごろとか。

バーベキュー用の野営場やロ

グハウス(六棟)のある林間イベ

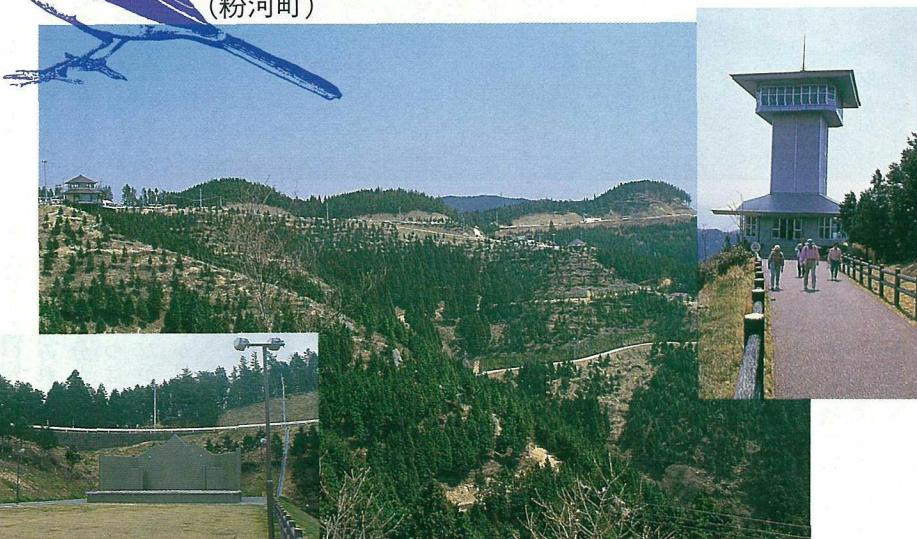
ント広場、遊歩道などもすでに

完成、今後はムササビの生態など高野山の四季を紹介する森林

学習展示館を整備すること

です。

## 眼下に広がる大パノラマ ハイランドパーク粉河



今年四月に開通した紀泉高原スカイライン。和歌山県と大阪府の府県境の葛城山系を走るこのスカイライン沿いに、粉河町が緑と人が共生する森林レクリエーションエントリーアーとして整備されたのが「ハイランドパーク粉河」です。

森林浴や野外レクリエーション活動が人気を得ている中で、エリア内には四季を彩る樹木や花木を植栽し、キャンプ場やターゲットバードゴルフ場、遊歩道のほか「森の音楽祭」ができるような野外ステージ(夜間照明付き)も整備するなど文化的な森林利用を図っています。

また、シンボルとなる展望台からは、関西国際空港や紀の川平野をはじめ、遠くは淡路島や紀伊半島の山々を一望でき、ゆったりとした気分を満喫できます。



## 夏だ。さあ、行動開始!

夏休みの計画、何かおありでしょうか。  
県では、子供たちに豊かな体験をしてもらおうと各種の催しを予定しています。ふるって、ご参加ください。

### 自然の中でたくましくわくわく王国・IN・清水～ふるさと体験隊～



9泊10日、ちょっとハードな野外生活。みんなの挑戦を大自然が迎えます。

期間 7月27日～8月5日

場所 有田郡清水町上湯川

対象 県内の小学5年生～高校3年生

定員 60人程度(多数の場合抽選)

参加費 1人10,000円

申込方法 往復ハガキに住所、氏名、性別、学校名、学年、保護者氏名(印)、連絡先を記入し、6月18日までに各地方教育事務所(和歌山市の方は県庁社会教育課)へ

くわしくは申込先、清水町教育委員会☎(0737)25-1111へ

日程	内 容
1日目	オリエンテーション
2日目	ベースキャンプ設営
3日目	自然観察活動など
4日目	交流の日。炭焼き体験活動など
5日目	創作の日。和紙づくりなど
6日目	自然食の日。食料調達活動など
7日目	チャレンジ、友情の日。登山など
8日目	祭の日。キャンプファイヤーなど
9日目	ベースキャンプのかたづけ
10日目	解散

### 船の旅で友だちづくりを 母と子の船

大型客船での共同生活を通じて友だちづくりを。また、家庭や社会での女性の生き方や子供のしつけなども話題としてください。

日時 7月21日～7月23日 2泊3日

行先 和歌山港～静岡県

対象 県内の小学3年・4年生とその母親(父子家庭は父親)

### 自然と親しもう 自然博物館教室

和歌山県の豊かな自然をもっと知ってください。

定員 各コース10人(多数の場合抽選)

申込方法 往復ハガキに住所、氏名、保護者氏名(印)、学校名、学年、電話番号、希望教室名を記入し、7月7日までに〒642海南市船尾370-1 県立自然博物館へ

くわしくは申込先☎(0734)83-1777へ

定員 300組(600人) 多数の場合は抽選

参加費 親子2人1組29,500円

申込方法 往復ハガキに住所、参加者氏名、学校名、学年、電話番号を記入のうえ、6月10日～18日までに各市町村役場の青少年担当課へ

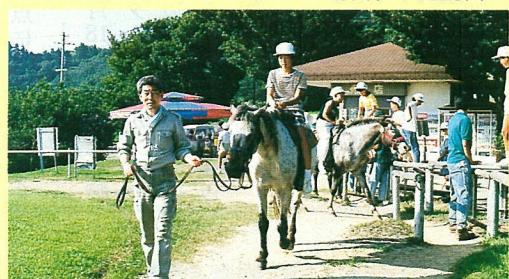
くわしくは県庁青少年女性課、各県事務所民生課へ

コース名と場所	日程(予定)	参加費
①和歌浦湾の生き物を調べる (和歌浦湾とその周辺)	7月29日～8月2日 (合宿)	18,000円
②昆虫の生態を調べる (竜神村小又川とその周辺)	8月22日～26日 (合宿)	25,000円
③植物の生態を調べる (美浜町日の岬とその周辺)	7月26日～30日 (合宿)	23,000円
④磯や砂浜の生き物を調べる (串本町土浦海岸)	8月1日～5日 (合宿)	18,000円

### 牛や馬と遊ぼう まきばの一日体験学習

牛や馬と遊んで、楽しいまきばの一日を過ごしてください。

日時 7月28日～29日(雨天の場合、7月29日～



### 県民プールをご利用ください

7月1日から県民プールがオープンします。ふるってご利用ください。

利用料金 大人(1人1回) ..... 350円  
子ども(1人1回) ..... 180円

※子どもは16歳未満の方。

30日)の1泊2日

場所 黒沢牧場(海南市)

対象 県内の小学5年・6年生(4人以内のグループ参加可。過去の参加者は対象外)

定員 120人(多数の場合抽選)

参加費 1人3,300円

申込方法 往復ハガキに住所、氏名、保護者氏名、学校名、学年、性別、電話番号を記入し、6月14日～24日までに〒640和歌山市美園町5丁目1-1 県畜産会へ

くわしくは申込先☎(0734)26-8133または県庁畜産課へ

開 場 日 時	
秋葉山プール ☎(0734)44-2361	7月1日～8月31日 毎週月曜日は休み 午前10時～午後5時 *7月15日～8月15日 は午後6時まで
河西 プール ☎(0734)52-4411	7月1日～8月31日 毎週火曜日は休み 午前10時～午後5時 *7月15日～8月15日 は午後6時まで
大新 プール ☎(0734)22-3302	7月1日～8月31日 毎週火曜日と7/4、8/8、 8/29は休み 正午～午後5時

\*各プール共通の回数券もあります。

### 川の生き物を観察しよう

清姫伝説の日高川を訪れ、自然に親しみながら水生昆虫を観察する会を開きます。

日時 7月24日(雨天決行)

行先 日高郡中津村地内

対象 小・中学生とその保護者(小学生は必ず保護者同伴)

定員 約50人(先着順)

### 水辺ウォッチング

参加費 障害保険料一人100円(雨天の場合別に施設見学料が必要)

申込 ハガキに住所、氏名、年齢、保護者氏名、電話番号を記入し、6月30日までに県庁環境調整課へ

くわしくは申込先へ

日置川源流の原生林、渓流沿いに大小三十餘の滝や数えきれないほどの奇岩が連続する百間山渓谷。新緑、紅葉の季節にはその美しさが一層際立つ百間山渓谷にあるキャンプ村を中心、大塔村では、森林とのふれあいをテーマにした公園整備進めています。

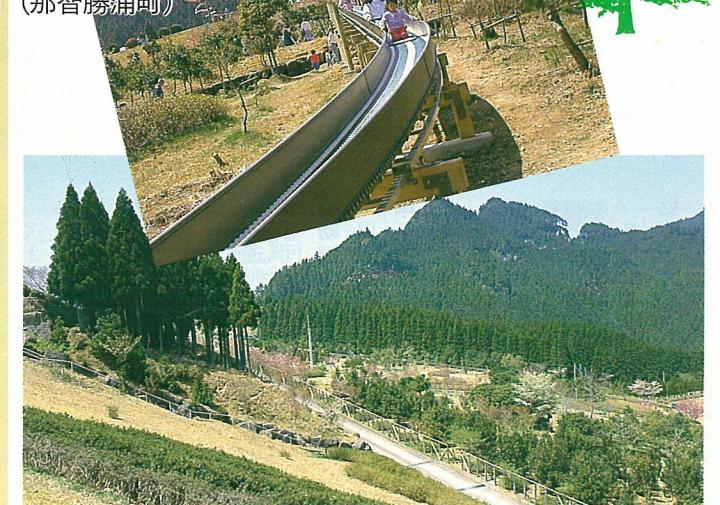
自然との調和の取れた宿泊施設としてバンガロー十棟を設け、大自然の中でのレクリエーションを楽しめる林間イベント広場や渓谷から流れ出る谷水を利用したわさび田と水遊び場も整備しています。

カモシカやクマタカ、オオルリなど渓谷周辺に生息する多くの野生鳥獣を観察し、森林とかかわりを学習する施設となる「森林学習の森(野鳥の森)」、山々の緑を見つめ、野鳥の観察なども楽しめる展望台などの整備も計画しているそうです。



### 緑の中を大滑走 那智高原公園

(那智勝浦町)



那智勝浦町の那智高原は、昭和五十二年に「第二十八回全国植樹祭」が催されたところで、スギやヒノキ、ケヤキなど約四十種の木々が植樹されています。今年四月には、落差日本一の「那智の滝」の高さに合わせ、長さが一三三メートルもあるロープアスレチックのような丸太遊具やスライダー(滑り台)と特産物などを販売する木造りの総合案内所が完成。今後は、フィールドや水遊び池、小動物公園のほか林間歩道なども整備するとのことです。

那智勝浦町の那智高原は、昭和五十二年に「第二十八回全国植樹祭」が催されたところで、スギやヒノキ、ケヤキなど約四十種の木々が植樹されています。

今年四月には、落差日本一の

町ではここを楽しみながら緑の大さが三三メートルもあるロ

ーースライダー(滑り台)と特産

物などを販売する木造りの総合

案内所が完成。今後は、フィール

ドアスレーチックのような丸太遊

具や水遊び池、小動物公園のほ

か林間歩道なども整備するとの

ことです。

# おしらせ

## 募集

### フアミリー・キャンプ参加者

自然の中でのテント生活で家族のふれあいを養ってください。

日時 7月10日～11日 1泊2日  
場所 塚立紀北青年の家  
定員 15家族(先着順)  
参加費 1人1,660円(子ども1,550円)  
申込 電話で6月30日までに県立紀北青年の家(0736)-2215530へ

くわしくは申込先へ  
立紀北青年の家(0736)-2215530へ

シルバー・囲碁・将棋大会  
日時 囲碁＝7月5日 将棋＝7月6日  
場所 日赤会館(和歌山市)

対象 県内にお住いの60歳以上のアマチュア  
定員 各64人(多數の場合抽選)  
申込方法 ハガキに住所、氏名、性別、生年月日、年齢、電話番号、参加種目を記入し、6月23日(必着)までに〒640和歌山市小松原通1-1-11大岩ビル6階(財和歌山県いきいき長寿社会センター)へ

募集人員 50人  
受入先 アルゼンチン、ボリビア、ブラジル、チリ、コロンビア、メキシコ、パラグアイ等  
目的 ①現地での3年間の体験を通じて、現地社会に関する知識を深め、将来の移住のための基盤づくりをする。  
②優秀な技術・技能を生かし、3年間、現地の受け入れ機関で活動することで、移住者の生活向上、地域社会の発展に貢献する。

資格 満20歳以上35歳までの高校卒業以上の方

海外開発青年  
会員登録  
申込先へ  
くわしくは申込先へ

### 心の輪を広げる体験作文・障害者問題啓発ポスター

対象 小学生以上  
申込方法 原則として40字詰め原稿用紙(B4判縦書き)を使用。小・中学生は2~4枚、高校生以上は5~8枚程度  
(ポスター)「障害者の日(十二月九日)」を広く知っていたために、ためのポスターを描いてください。

募集人員 50人  
受入先 アルゼンチン、ボリビア、メキシコ、パラグアイ等  
目的 ①現地での3年間の体験を通じて、現地社会に関する知識を深め、将来の移住のための基盤づくりをする。

海外開発青年  
会員登録  
申込先へ  
くわしくは申込先へ

### シルバー・囲碁・将棋大会

日時 囲碁＝7月5日 将棋＝7月6日  
場所 日赤会館(和歌山市)

対象 県内にお住いの60歳以上のアマチュア  
定員 各64人(多數の場合抽選)  
申込方法 ハガキに住所、氏名、性別、生年月日、年齢、電話番号、参加種目を記入し、6月23日(必着)までに〒640和歌山市小松原通1-1-11大岩ビル6階(財和歌山県いきいき長寿社会センター)へ

募集人員 50人  
受入先 アルゼンチン、ボリビア、メキシコ、パラグアイ等  
目的 ①現地での3年間の体験を通じて、現地社会に関する知識を深め、将来の移住のための基盤づくりをする。

### 県営住宅入居補欠者

空家が発生すれば、当選順に入居していただきます。

申込用紙配布 6月7日～22日  
申込方法 田辺土木事務所、田辺市役所、田辺土木事務所内町村役場  
申込先 6月23日・24日 木事務所(0739)-2617  
くわしくは申込先へ

### 工業統計調査広報用ポスター

申込用紙配布 6月7日～22日  
申込方法 田辺土木事務所、田辺市役所、田辺土木事務所内町村役場  
申込先 6月23日・24日 木事務所(0739)-2617  
くわしくは申込先へ

### 和歌山ビジネススクール

申込用紙配布 6月7日～22日  
申込方法 田辺土木事務所、田辺市役所、田辺土木事務所内町村役場  
申込先 6月23日・24日 木事務所(0739)-2617  
くわしくは申込先へ

### 生活教養講座(木曜教室)

暮らしに役立つ知識を身につけていただきます。(参加無料)  
期間 7月8日～9月16日の間の毎週木曜日午後1時30分～約2時間(8月12日は休み)  
内容 衣・食・住など10講座  
定員 50人(先着順)  
申込 先電話で県消費生活センター(0734)-3311551  
くわしくは申込先へ

### 再就業看護婦等講習会

最近の看護についての知識や技術を習得していただきます。

### 「県展」応募作品

申込用紙B3判(364mm×515mm)を使用し、これに満たない作品はB3判の台紙に貼付。彩色、画材は自由。

月18日 国際協力事業団各支部所在地などで実施(第2次(面接等)8月19日または20日)、外移住センター(横浜市)で実施

出発 平成6年2月下旬  
申込 6月1日～7月10日までに〒520大阪市北区島堂2-1-2-2近鉄堂島ビル14階 国際協力事業団関西支部(06)-3451-3621へ  
説明会等くわしくは申込先へ

募集期間 7月9日～9月9日  
くわしくは申込先へ

1へ  
くわしくは申込先へ  
和歌山ビジネススクール  
生産・財務・労務・販売など経営管理の基本について学んでいただきます。

期間 7月23日～11月5日まで延べ16日間  
対象 県内の中小企業の管理・監督・後継者など  
定員 30人  
受講料 45,000円  
場所 県社会福祉センター(和歌山市)

申込方法 6月18日までに〒640和歌山市西汀丁26県経済センタ内 県中小企業総合指導所へ  
くわしくは申込先へ  
4) 33-1500へ  
ふるさと建築景観賞  
あなた自身にあるステキな建物やまちなみを推薦してください。  
申込方法 7月31日までにハガキまたは申込先備付けの推薦ハガキに建物やまちなみの名称、所在地、推薦者の住所、氏名、職業、電話番号を記入のうえ、県庁建築課、各土木事務所へ呈します。

児童扶養手当  
児童手当は、3歳未満の児童を養育している方に支給されます。ただし、平成4年1月から20歳未満で精神または身体に障害のあるお子さんを、在宅で養育している父母等に支給されます。

児童手当の手続きを  
お忘れなく  
児童手当は、3歳未満の児童を養育している方に支給されます。ただし、平成4年1月から20歳未満で精神または身体に障害のあるお子さんを、在宅で養育している父母等に支給されます。

お忘れなく

申込 6月30日までに〒640和歌山市東高松4丁目1-24県美容業環境衛生同業組合(0734)47-2688へ  
4) 47-2688へ  
ふるさと花壇づくり  
整備補助金  
ふるさと花壇づくり  
整備補助金  
対象 世界リゾート博をひかえ、県民運動として花づくりを推進する団体の事業  
申込方法 7月20日までに事業計画書を各市町村役場へ  
くわしくは申込先へ  
振興課、各県事務所総務課へ  
わかつやま環境フェア'93  
6月は環境月間です。世界的に環境にやさしい行動が求められている中で、県民の皆さんに

いる方(中学生以下を除く)

出品料 一点につき1,540円

受講料 無料(実習に使用する白衣の洗濯代は自己負担)

申込 6月15日までに〒640和歌山市西浜1014-27和歌山県看護研修センター内(和歌山県看護協会)再就業看護婦等講習会係(0734)-461-0121へ  
くわしくは申込先へ

1へ  
くわしくは申込先へ  
和歌山ビジネススクール  
生産・財務・労務・販売など経営管理の基本について学んでいただきます。

期間 7月23日～11月5日まで延べ16日間  
対象 県内の中小企業の管理・監督・後継者など  
定員 30人  
受講料 45,000円  
場所 県社会福祉センター(和歌山市)

申込方法 6月18日までに〒640和歌山市西汀丁26県経済センタ内 県中小企業総合指導所へ  
くわしくは申込先へ  
4) 33-1500へ  
ふるさと建築景観賞  
あなた自身にあるステキな建物やまちなみを推薦してください。  
申込方法 7月31日までにハガキまたは申込先備付けの推薦ハガキに建物やまちなみの名称、所在地、推薦者の住所、氏名、職業、電話番号を記入のうえ、県庁建築課、各土木事務所へ呈します。

児童扶養手当  
児童手当は、3歳未満の児童を養育している方に支給されます。ただし、平成4年1月から20歳未満で精神または身体に障害のあるお子さんを、在宅で養育している父母等に支給されます。

児童手当の手続きを

お忘れなく

申込 6月30日までに〒640和歌山市東高松4丁目1-24県美容業環境衛生同業組合(0734)47-2688へ  
4) 47-2688へ  
ふるさと花壇づくり  
整備補助金  
対象 世界リゾート博をひかえ、県民運動として花づくりを推進する団体の事業  
申込方法 7月20日までに事業計画書を各市町村役場へ  
くわしくは申込先へ  
振興課、各県事務所総務課へ  
わかつやま環境フェア'93  
6月は環境月間です。世界的に環境にやさしい行動が求められている中で、県民の皆さんに

いる方(中学生以下を除く)

出品料 一点につき1,540円

受講料 無料(実習に使用する白衣の洗濯代は自己負担)

申込 6月15日までに〒640和歌山市西浜1014-27和歌山県看護研修センター内(和歌山県看護協会)再就業看護婦等講習会係(0734)-461-0121へ  
くわしくは申込先へ

1へ  
くわしくは申込先へ  
和歌山ビジネススクール  
生産・財務・労務・販売など経営管理の基本について学んでいただきます。

期間 7月23日～11月5日まで延べ16日間  
対象 県内の中小企業の管理・監督・後継者など  
定員 30人  
受講料 45,000円  
場所 県社会福祉センター(和歌山市)

申込方法 6月18日までに〒640和歌山市西汀丁26県経済センタ内 県中小企業総合指導所へ  
くわしくは申込先へ  
4) 33-1500へ  
ふるさと建築景観賞  
あなた自身にあるステキな建物やまちなみを推薦してください。  
申込方法 7月31日までにハガキまたは申込先備付けの推薦ハガキに建物やまちなみの名称、所在地、推薦者の住所、氏名、職業、電話番号を記入のうえ、県庁建築課、各土木事務所へ呈します。

児童扶養手当  
児童手当は、3歳未満の児童を養育している方に支給されます。ただし、平成4年1月から20歳未満で精神または身体に障害のあるお子さんを、在宅で養育している父母等に支給されます。

児童手当の手続きを

お忘れなく

申込 6月30日までに〒640和歌山市東高松4丁目1-24県美容業環境衛生同業組合(0734)47-2688へ  
4) 47-2688へ  
ふるさと花壇づくり  
整備補助金  
対象 世界リゾート博をひかえ、県民運動として花づくりを推進する団体の事業  
申込方法 7月20日までに事業計画書を各市町村役場へ  
くわしくは申込先へ  
振興課、各県事務所総務課へ  
わかつやま環境フェア'93  
6月は環境月間です。世界的に環境にやさしい行動が求められている中で、県民の皆さんに

いる方(中学生以下を除く)

出品料 一点につき1,540円

受講料 無料(実習に使用する白衣の洗濯代は自己負担)

申込 6月15日までに〒640和歌山市西浜1014-27和歌山県看護研修センター内(和歌山県看護協会)再就業看護婦等講習会係(0734)-461-0121へ  
くわしくは申込先へ

1へ  
くわしくは申込先へ  
和歌山ビジネススクール  
生産・財務・労務・販売など経営管理の基本について学んでいただきます。

期間 7月23日～11月5日まで延べ16日間  
対象 県内の中小企業の管理・監督・後継者など  
定員 30人  
受講料 45,000円  
場所 県社会福祉センター(和歌山市)

申込方法 6月18日までに〒640和歌山市西汀丁26県経済センタ内 県中小企業総合指導所へ  
くわしくは申込先へ  
4) 33-1500へ  
ふるさと建築景観賞  
あなた自身にあるステキな建物やまちなみを推薦してください。  
申込方法 7月31日までにハガキまたは申込先備付けの推薦ハガキに建物やまちなみの名称、所在地、推薦者の住所、氏名、職業、電話番号を記入のうえ、県庁建築課、各土木事務所へ呈します。

児童扶養手当  
児童手当は、3歳未満の児童を養育している方に支給されます。ただし、平成4年1月から20歳未満で精神または身体に障害のあるお子さんを、在宅で養育している父母等に支給されます。

児童手当の手続きを

お忘れなく

申込 6月30日までに〒640和歌山市東高松4丁目1-24県美容業環境衛生同業組合(0734)47-2688へ  
4) 47-2688へ  
ふるさと花壇づくり  
整備補助金  
対象 世界リゾート博をひかえ、県民運動として花づくりを推進する団体の事業  
申込方法 7月20日までに事業計画書を各市町村役場へ  
くわしくは申込先へ  
振興課、各県事務所総務課へ  
わかつやま環境フェア'93  
6月は環境月間です。世界的に環境にやさしい行動が求められている中で、県民の皆さんに

いる方(中学生以下を除く)

出品料 一点につき1,540円

受講料 無料(実習に使用する白衣の洗濯代は自己負担)

申込 6月15日までに〒640和歌山市西浜1014-27和歌山県看護研修センター内(和歌山県看護協会)再就業看護婦等講習会係(0734)-461-0121へ  
くわしくは申込先へ

1へ  
くわしくは申込先へ  
和歌山ビジネススクール  
生産・財務・労務・販売など経営管理の基本について学んでいただきます。

期間 7月23日～11月5日まで延べ16日間  
対象 県内の中小企業の管理・監督・後継者など  
定員 30人  
受講料 45,000円  
場所 県社会福祉センター(和歌山市)

申込方法 6月18日までに〒640和歌山市西汀丁26県経済センタ内 県中小企業総合指導所へ  
くわしくは申込先へ  
4) 33-1500へ  
ふるさと建築景観賞  
あなた自身にあるステキな建物やまちなみを推薦してください。  
申込方法 7月31日までにハガキまたは申込先備付けの推薦ハガキに建物やまちなみの名称、所在地、推薦者の住所、氏名、職業、電話番号を記入のうえ、県庁建築課、各土木事務所へ呈します。



## 誘致企業があいつぎ操業を開始

県が県外から誘致した3企業が、このほど、あいつぎ操業を開始しました。

下津町に進出した高田機工㈱は、橋梁・鉄骨・水門など鉄鋼構造物専門の製造メーカーで、和歌山工場はロボット化・自動ライン化など先進技術を取り入れた最新鋭工場となっています。

また鋼構造物、鉄骨の設計・製作・施工などの専門メーカーとして、吉備町で㈱ソエジマが、日置川町でも㈱櫻之宮鉄工所南海工場が操業を始めました。

これら3社で約120人が地元から採用され、雇用の確保が図られるなど、新しい企業の進出が地元の発展につながると期待が寄せられています。



## 愛を語らう休憩所

枯木灘を望むすさみ町内に「かたらいベンチ」が設置されています。

木に似せたコンクリート製のベンチの前には、ハイネなどの「愛の詩」を刻んだ縦・横60cmのステンレス製のプレートを取り付けています。

国道42号沿いの童謡公園のほか江須崎の春日大社などに設置。

恋人たちが肩を寄せ合い愛を語る絶好の場所として人気を呼びそうです。(すさみ町)



弁慶参上!  
いざ、PR

国道42号沿いに巨大弁慶が出現、田辺市をPRしています。

南部町との境になる田辺市芳養町大屋に設置されたもので、人形の高さは台座を含めると5m。

弁慶は道しるべになっている巻物を右手で掲げ、市街地、石神梅林、天神崎と和歌山、大阪までの距離を示しています。

弁慶の出身地と伝えられる田辺市。楽しい名物が一つ増えました。(田辺市)



## 果樹園芸試験場 紀北分場を新築

果樹園芸試験場紀北分場が新しく生まれ変わりました。

落葉果樹の技術開発、技術指導の拠点として、昭和二十八年に設置した当分場。

新しい時代のニーズに対応した研究体制が図れるよう、本館や営農管理棟を新築し、分光光度計、ガスクロマトグラフィー、窒素分析装置、クリーンベンチ、予冷庫、脱済庫などの研究施設を整備しました。

新しい紀北分場は、紀北地区を中心とした果樹産地の振興、発展にさらに大きく貢献していきます。



## NEWS

熊野川町日足の町役場近くに、子供たちが「田んぼ水族館」というユニークな名前をつけた自然体験エリアが誕生しました。町が以前から休耕田になっている湿地帯に、遊歩道や水車小屋、きのこやひょうたもので、数少なくなったコサナエや日本で最も小さいハツチヨウトンボなどの珍しい昆虫類が生息し、県下で確認されているのがたつた四カ所というフトイなどの植物も見られるとか。訪れた子供たちも、さっそくも網でメダカやドジョウをすくったり、ザリガニを捕まえたり、泥んこになりながら遊んでいました。(熊野川町)



## 自然の中で遊ぼう 「田んぼ水族館」

ふるさと知識  
シリーズ 84

## 自然を愛した文人画家 野呂介石

自然を描き続けた

文人画家、野呂介石。

和歌山絹屋町の大

年寄、野呂方紹の五

男として生まれた介

石は、幼いときから

儒学を学び、絵の道

も好んだ。

十四歳のとき、京

都に遊学し、黄檗山

の鶴亭に墨竹を学び、

二十一歳のときは池大雅の門下となり、山水画

を描くことを学んだ。

寛政五年(一九七三)、四十七歳で藩士として召

し抱えられるが、その後も絵の道に励み次々と格

調高い作品を生み出すこととなる。

一般に、介石の作品は寛政期に入つてから作風

が安定し佳作といわれるものが多いたが、「那智瀑布

図」や「熊野地方山水図」などのように、自らの

身を自然の中に置き、それを直接感じ取り、描く

ことが出来たからではないかと言われている。

六十四歳で、大和の千手院の「天地赤壁図」を

模写し、朝夕それを眺めていたという介石の探求

心は、彼を、当時の文人画家の代表格に成長させたのであった。

年老いてなお道を究め、独自の画風を作り上げた介石には、多くの門下生が集まつたといいう。

文政十一年、八十一歳で没。



介石の描いた富士、白糸の滝

うつとうしい梅雨の季節と  
なりました。降らなくとも困  
る雨、降り過ぎても困る雨。  
人間の手でどうにもならない  
のが自然です。

今月特集した「緑」もそうです。落ち葉  
が腐り肥料となり、豊かな土が清水を生  
み、朽ちた倒木が新しい命を育みます。こ  
んな大きな輪廻の中に私たちの命があるこ  
とを一度思い起こす季節なのかしま  
せん。命の水が天から与えられている。思  
いきって発想を変え雨を楽しむゆとりが欲  
しいものです。